



8/14
 “ポップ”で本のたのしさを伝えたい
 子ども司書講座

子どもたちに図書館や司書の仕事を知ってもらう講座が4回にわたり開催され、最終日のこの日は、友だちに本の良さを紹介する「ポップ」作りが行われました。「ヒロシマ消えたかぞく」の本を題材にした春日咲和さんは「命や平和について考えてほしい」と話し、思いを込めてポップを作りあげました。講座を全て終了した8人の子供たちには、認定証が授与されました。



8/20
 ものづくりの楽しさを親子で体験
 子ども会連合会による木工教室

木材を使った作品づくりを親子で楽しむ教室がセラトピア土岐で開催され、51組約100人が参加しました。「フォトスタンド」「ブックスタンド」「いす」のキットから好きなものを選び、大工さんのアドバイスをもらいながら作品を仕上げた参加者は、釘を真っすぐ打てなかったり、のこぎりでなかなか木材が切れなかったりと苦戦しつつも、親子でものを作る楽しさを味わいました。



8/22
 私たちにどんなことができるのか
 夢と絆中学生サミット

市内中学校の代表が交流を深めながら課題を話し合う「夢と絆中学生サミット」が土岐津中学校で開催されました。地域活性化をテーマとした今回は、身近な活動である「あいさつ」と「清掃活動」を主体に地域とつながるアイデアが報告されたほか、学校生活と地域活動を持続させるための問題提起には、時間や参加者を分散させ負担をシェアするなどの意見が出されました。



大会成績
 スナッチ
 4位 (112kg)
 クリーン&ジャーク
 1位 (141kg)
 トータル
 1位 (253kg)

8/24
 ウエイトリフティング 吉村悠希さん
 インターハイ2連覇の偉業

北海道で開催された「全国高等学校総合体育大会」のウエイトリフティング競技の73kg級で、土岐商業高校3年の吉村悠希さんが連覇を果たしました。岐阜県の選手による連覇は半世紀以上ぶりで、吉村さんは「けがで不安を抱えながらの出場だったが、それぞれの試技を自分、家族や応援してくれる方、ふるさとのためを思い挑んだ。優勝できてほっとしています」と大会を振り返りました。

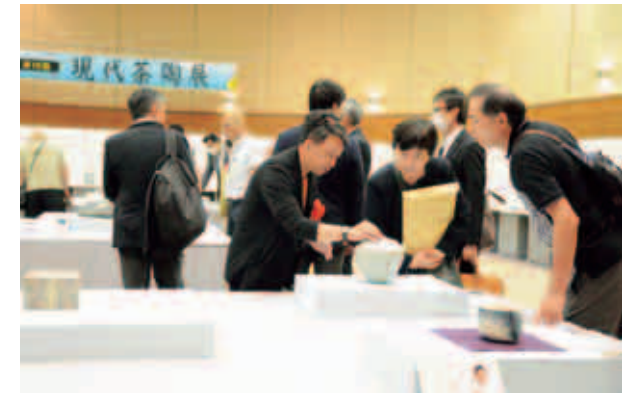
7/30
 他の人に使ってもらえるってうれしい
 土岐青年会議所主催 MOTTAINAI フェス

物や資源の大切さを感じてもらおうと、自宅にある“使えるけど使わないもの”を持ち寄り交換し合う「MOTTAINAI フェス」が土岐津小学校体育館で開催されました。ボランティアとして参加し、自分の使わないものも持参したという肥田中学校3年の加藤向葵さんは「自分の持ってきたものが他の人に使ってもらえるのがうれしい」と話しました。



8/4
 茶の湯の世界に新しい風を
 現代茶陶展

第15回現代茶陶展がセラトピア土岐で開催され、TOKI織部大賞を含む69点の作品が展示されました。開幕に際し、受賞者や関係者による交流会が催され、審査員による講評が行われたり、作家同士が交流をしたりする姿が見られました。大賞を受賞したアークネス・フスさんは「この花器に花などを生け、水をはった時の表情を見て欲しい」と作品への思いを話しました。



8/6
 濃南分団が訓練の成果を堂々と披露
 第72回岐阜県消防操法大会

各務原市で開催された第72回岐阜県消防操法大会に土岐市代表として濃南分団が出場し、焼け付くような厳しい暑さの中、選手たちは2月から積み重ねてきた訓練の成果を存分に発揮しました。結果は、悲願の優勝には届きませんでしたが、連携の取れたポンプ車操法で5位入賞を果たし、指揮者を務めた中野勇さんが優秀番員賞を受賞しました。



7/27・8/10
 身近な「やきもの再発見！」
 陶磁器試験場で親子教室

毎日当たり前に使っている「やきもの」のことをもっと知ってもらおうと、夏休みを利用した親子教室が陶磁器試験場で開催されました。教室では試験場の職員から「やきものが一晩でどれくらい水を吸うか」「汚れをどうやって落とすか」など、実験を織り交ぜながら学んだり、3Dプリンターを使った試作品づくりを見学したりして、やきものを再発見しました。

